

検討単語の確定について 2018年 第2回本委員会（6月本委員会の残り、13単語）

単語	意味付け	参考単語	各班 結果	表現の仕方	本委員会 結果	検討経緯
1 いか しんとう 怒り心頭に発する	心の底から激しく怒ること。「心頭」は心の中という意味。		北海道	◎ <頭に当てた両手拳から開きながら上に上げる>	怒り心頭に発するA…ア アレンジ 怒り心頭に発するB…創 創作	怒る、雷の表現、逆上（故大原省三先生の手話表現、東京辺りで時々みかける。） →怒りの表現を強めにしたらどうか。 →新しい手話を創作するのもいいが、今ある手話を使うのもたいせつだ。 ⇒怒り心頭に発するA<怒る>を同時に力を兼ね、上へ出す。 ⇒怒り心頭に発するB（頭に当てた両手拳を破裂するように両手をぱっと開く） ※怒り心頭に発するAは関東班。 ※怒り心頭に発するBは東北班の案を参考にした。
			東北	◎ <怒り>を上にあげ、頭で破裂		
			関東	ア 折り曲げた両手を腹に置き、同時に力を込めて指先を前に向ける		
			北信越	保 両方でプチ切れ		
			東海	△ 「怒る」		
			近畿	保 怒って爆発する様子		
			中国	△ 悔しがる		
			四国	◎ 両手人差し指を頭の横でじわじわあげ外側にはじき出す		
			九州	△ 怒るを強く表現する		
			2 かさいほうちき 火災報知器	感知器によって火災を感知若しくは火災を発見した人間が発信機を操作することで警報を発したり、消防機関に通報する機器の総称。		
東北	○ 左手で<火災>右手は、上向きに曲げた5指を上方につけて降ろす					
関東	● 「火」+左手「C」の中を右手親指で押す					
北信越	● 火+付ける					
東海	○ 「火災」+「天井につける」					
近畿	◎ 火の手話にベルを押す様子					
中国	● 火災+飾り物					
四国	● /火/ + /キャッチする/ + 壁に設置する					
九州	ア 火事、同時に知らせる					
3 こうりつてき 効率的	効率がよいか。むだがないさま。	①<能率（わ10-36・学I-204）> ②<合う・～的（わ5-187・学I-128）>			北海道	● <効果> + <量> + <的>
			東北	● <効果> + 左手そのまま右手<率>		
			関東	● 「無駄」+「無い」		
			北信越	ア 増える		
			東海	● 「スムーズ」+「的」		
			近畿	保		
			中国	● 効果+的		
			四国	保 両手を開き、前に出す		
			九州	● 早い+適切		
			4 がちんこたいけつ ガチンコ対決	ガチンコは、大相撲やプロレスにおける「真剣勝負」を意味する隠語。	<勝負・一騎打ち（わ4-200・学I-64）>	北海道
東北	● <本当> + <勝負>					
関東	◎ 「勝負」を素早く力強く					
北信越	● 本番+勝負					
東海	● 「真剣」+「対決」					
近畿	保 勝負を強めた感じ					
中国	● 真剣+勝負					
四国	● /試合/ を練り上げていく					
九州	△ 対決「ガチンコ」は表情で表す					
5 はなみずき	ミズキ科の落葉小高木。樹皮は灰黒色。葉は楕円形で、秋に紅葉する。北アメリカ原産で、高さ10メートルに達する。	<水（学I-452）>				北海道
			東北	● 左手<花>右手で<水> + <木>		
			関東	● 「花」+指文字「はなみずき」		
			北信越	◎ 2本を花+木		
			東海	● 左手で「花」、右手で「水」「木」		
			近畿	○ 人差し指「木」に「花」+「水」と流れるようにあらかず		
			中国	● 花+水+木		
			四国	ア 左手で/花/ 右手で/水/ + /木/		
			九州	● 花+水+木		
			6 しょうぶ 菖蒲	サトイモ科の多年草。池、川等に生える。アヤメ - アヤメ科の多年草。	<アヤメ（学II-179）>	北海道
東北	● （アヤメを参考）左手「シ」右手で葉を形どる					
関東	ア 両手2指を開いて下の方で向い合せ、交互に斜めに跳ね上げ2指をつける（葉の形を表現）					
北信越	◎ 鋭いような表現					
東海	ア 「あやめ」を流用し、左手を指文字「シ」					
近畿	○ 人差し指「木」に「シ」～「ム」と下へ流れるようにあらかず					
中国	×					
四国	◎ /草/ + 菖蒲の葉の様子					
九州	ア 五月五日 + 葉 菖蒲湯をこどもの日にわかず風習から					
7 つつじ	ツツジ科ツツジ属の植物の総称。常緑または落葉性の低木、まれに小高木もある。					北海道
			東北	● 左手「ツ」右手<花>を大きく弧を描く		
			関東	● 「花」+指文字「つつじ」		
			北信越	● 指文字の「つ」花		
			東海	○ 左手で指文字「ツ」、右手で周りに「咲く」		
			近畿	ア 花+蜜の部分に「ツ」を入れて口に運ぶ様子		
			中国	● 咲く+咲く+咲く+咲く		
			四国	◎ /花/ + つつじ（指文字）		
			九州	ア 指文字「ツ」で花が咲く様子を表す。		
			8 ぼけ 木瓜	バラ科の落葉低木。高さ約2メートル。枝にとげがあり、葉は楕円形で縁にぎざぎざがある。春、葉に先だって、紅・淡紅・白色や絞りの5弁の花が咲く。実は球状で夏に黄色に熟し、香りがある。中国の原産で、庭木にされる。		北海道
東北	● 左手「ボ」右手<花>					
関東	● 「花」+指文字「ぼけ」					
北信越	● 指文字の「ほ」周りに花					
東海	◎ 左での人差し指に右手で「咲く」、のあとに指文字「ケ」					
近畿	ア 人差し指のまわり（右、上、左の順に花を出す）					
中国	● 呆け+花					
四国	◎ 左手人差し指/木/ + ぼけ（指文字）					
九州	ア バラと指文字「ホ」 木瓜がバラ科植物だから。					
9 しがらみ	①水流をせき止めるために、川の中にくいを打ち並べて、それに木の枝や竹などを横に結びつけたもの。 ②引き留め、まとわりつくもの。じゃまをするもの。 （例：「恋のしがらみ」「しがらみでがんじがらみになる」など）					北海道
			東北	● 左右に引かれ + <行き止まり>		
			関東	◎ 親指を離して伸ばし小指側を下にして立てた左手の手前から、数字「四」の形の右手を右に動かす		
			北信越	◎ 鎖		
			東海	◎ 顔は左側に向け、右側で両手で引っ張られる仕草		
			近畿	保 引っ張られる様子		
			中国	○ こたわり		
			四国	◎ 両手の指を絡め合わせる		
			九州	● 関係+混乱		

検討単語の確定について 2018年 第2回本委員会（6月本委員会の残り、13単語）

単語	意味付け	参考単語	各班 結果	表現の仕方	本委員会 結果	検討経緯
10 ばんぐる 番狂わせ	予想外のことが起きて、順序が狂うこと。勝負事などで、予期しない結果になること。（例：シード選手が初戦で負けるという番狂わせ）など		北海道	ア <左手の指先に向けた右手を前に出す>	保 保存手話	9班の案を見ると「意外」の表現が多いね。 →決まったものがあって（左手）そこからずれる意味の表現がある。 →指を広げた両手を向き合わせ、右手を前に出す。 ⇒北海道班の案を採用
			東北	● <意外> + <示す>		
			関東	● 「意外」+両手を指先側で向い合せ前後へ引き離す		
			北信越	保 石川県手話 予想外		
			東海	△ 「意外」		
			近畿	保 思った+外れた		
			中国	● 思う+違う		
			四国	● /想像/ + /逆/		
			九州	ア 下の位置の者が、上の位置の者を倒す。		
11 アカデミー	高等教育機関の呼称、また学術団体の総称。古代アテナイ近郊にあったプラトンの学園アカデメイアに由来する。		北海道	ア <指文字「あ」両手を手首で交差してひねる>	ア アレンジ	アカデミーは大学以上の教育、および研究機関のこと。 →研究の表現を使うといい。 ⇒両手<ア>の指文字で<研究>を表現する。 →北海道、東海班の案を採用
			東北	● 左手「ア」右手<勉強>		
			関東	● 「教える」+両手指文字「ア」形の親指を向い合せ、半円を描いて手前に引く		
			北信越	◎ オスカー賞のトロフィーをイメージさせた		
			東海	ア 指文字「ア」で「研究」		
			近畿	ア 学ぶ+「ア」 アメリカのカレッジの手話をアレンジ		
			中国	● ア+団体		
			四国	◎ 指文字あ を回す		
			九州	ア 右手学校 左手 指文字「あ」を上方に動かす		
12 むち 無知	知恵の浅いこと。また、その人。（例：「相手の無知につけ込む」「無知な人間」など）		北海道	● <知恵> + <浅い>	保 保存手話	保存手話を採用したいな。 →北信越の案に両手で両目を塞ぐ、目隠しの表現がある。 ⇒両手を顔の両脇から手首を軸に閉じて目を覆う →北信越班の表現（富山の保存手話）
			東北	ア 「チ」を下向きにして右に移動		
			関東	◎ 親指をこめかみに当てて人差指を立てる。2指の指先をつける		
			北信越	保 富山県手話 自閉		
			東海	● 「知識」+「足りない」		
			近畿	● 知識+ない		
			中国	● 知識+浅い		
			四国	◎ 額のところ 0 を示す		
			九州	● 頭+無い・空っぽ		
13 みち 未知	まだ知らないこと。また、まだ知られていないこと。（例：「未知の世界」「未知の分野」など）	<分らない（わ1-217・学I-341）>	北海道	● <知らない>	△ ラベル追加	<見えない> + <知らない> は合わない。 →今ある手話を使えないか。 ⇒<分らない（わ1-217・学I-341）>にラベル追加とする。 →北海道班の案を採用
			東北	● <未だ>を長めに + <知らない>		
			関東	○ 左手掌で両目を覆い、右手で「わからない」		
			北信越	○ 目を閉じる + わからない		
			東海	● 「知る」+「まだ」		
			近畿	ア 頭の中がない様子		
			中国	● まったく + 知らない		
			四国	◎ 前方に手を置き、指先を少し開く		
			九州	ア 分かる + まだ		
14 ごうぎ 合議	集まって相談すること。	<相談・協議・検討（学I-62）>	北海道	● <集まる> + <相談>	△ ラベル追加	ごうぎ、あいぎともあまり、見かけない。 →一仕事上、使われている用語。感じは同じだが意味が異なるので、それぞれ検討が必要。 →ラベル追加でいいか。 ⇒<相談>にラベル追加
			東北	● 「集まる」+「会議」		
			関東	ア 「集まる」（指先上向き）+「相談」		
			北信越	● 集まる+会議		
			東海	● 「集まる」「会議」		
			近畿	△ 会議の手話を円を描くように回す		
			中国	● 合わせ+会議		
			四国	● /合う/ + /会議/		
			九州	● 「集まる」+「会議」		
15 あいぎ 合議	起案する時に回覧者が押捺する欄のことをいう。		北海道	● <合わせる> + <認める>	◎ 創作手話	回覧は板を回す表現。 →ハンコを押すしぐさをしながら、横に動かすのか、回すのか。 ⇒つまんだ右手指先で左手掌にハンコを押す動作を3~4回繰り返し返しながら、水平に回す（左右同時に） →東北班の案を採用
			東北	◎ 左掌につぼめた右手5指を3回ほどつける		
			関東	● こめかみに右手人差指をあててから「一致する、合う」+左掌に左から右へ3回押印する仕草		
			北信越	● ハンコ+出す		
			東海	◎ 資料にスタンプを押すしぐさ（3回）		
			近畿	×		
			中国	● 紙+印		
			四国	○ 左/C/（合う） + 印鑑が並んで押してある様子		
			九州	ア 「捺印」を上を動かす。（上司が順に押印）		
16 しゅかん 主幹	国の機関や地方公共団体、民間企業等に置かれている役職の一つ。「主幹」のもともとの意味は「仕事の中心となる人」である。	<〇〇長・王（わ1-33・学I-54）>	北海道	● <主（右手の親指を立て上へ上げる）> + <幹部>	● 組み合わせ	「主幹」のもともとの意味は「仕事の中心となる人」の意味があるので、<主幹>を使い班もあった。 →<主> + <木の幹>は？ →<基幹> + <男>と<〇〇長> + <幹部>で採決した結果 ⇒<〇〇長・王> + <幹部> →北海道班の案を採用
			東北	● 「主」+指文字で<カ><ン>		
			関東	● 「偉い、主な」を表し、丸めた左手5指（仕事を表す）の間に下ろす		
			北信越	● 主+長		
			東海	● 「主」+「基幹」		
			近畿	● 主+まとめる		
			中国	● 主+カン指文字		
			四国	○ 左親指を立て（主）の肘のところを右手で触る（幹）		
			九州	● 「主」+指文字「カ」「ン」（役職名を音で表す）		
17 しゅさ 主査	中央省庁・地方公共団体や各種の公的機関、民間企業などの組織における職名の一つである。本来の意味は、業務を調査・チェックしたり、助言を行ったり、意見を取りまとめる者のことである。	<〇〇長・王（わ1-33・学I-54）>	北海道	● <主（右手の親指を立て上へ上げる）> + <指文字「さ」>	● 組み合わせ	<～長> + <サ>または<～長> + <調べる>に分かれた。 →業務を調査・チェックしたり、助言を行ったり、意見を取りまとめる者という意味があるので、<〇〇長> + <サ>の方が視覚的に分かりやすい。 ⇒<〇〇長・王> + <サ> →北海道、東北、東海班の案を採用
			東北	● 「主」+指文字で<サ>		
			関東	● 「偉い、主な」+「調べる」		
			北信越	● 主+調べる		
			東海	● 「主」+ 指文字「さ」		
			近畿	○ 主+調べる		
			中国	● 主+さ指文字		
			四国	○ 左親指を立て（主）の肘のところを右手で/調べる/		
			九州	● 「主」+指文字「サ」（役職名を音で表す）		